

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 8 月 30 日 (2012.8.30)

【公表番号】特表 2011-529107 (P2011-529107A)

【公表日】平成 23 年 12 月 1 日 (2011.12.1)

【年通号数】公開・登録公報 2011-048

【出願番号】特願 2011-519114 (P2011-519114)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/10

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 7 月 12 日 (2012.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 17】

リグノセルロース性複合体であって、

前記リグノセルロース性複合体を 100 質量部として、約 75 ～ 約 99 質量部の量で存在する、複数のリグノセルロース性部分；及び

イソシアネート成分及び加工助剤の反応生成物（但し、該反応生成物は、前記複数のリグノセルロース性部分を一緒に結合し、そして前記リグノセルロース性複合体中に、前記リグノセルロース性複合体を 100 質量部として、約 1 ～ 約 25 質量部の量で存在する）；

を含み、前記加工助剤が、ポリマーポリオール、polyharnstoff (PHD) polys、ポリイソシアネート重付加 (PIPA) ポリオール、及びこれらの組み合わせから成る群から選ばれるグラフトポリオールを含むことを特徴とするリグノセルロース性複合体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 18】

ワックス成分を実質的に有しないことを特徴とする請求項 17 に記載のリグノセルロース性複合体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

前記グラフトポリオールが、ポリオールを含む連続相と、ポリマー性粒子を含む不連続相を含み、そして、ポリマー性粒子は、前記加工助剤中に、前記加工助剤を 100 質量部として、約 5 ～ 約 70 質量部の量で存在することを特徴とする請求項 17 に記載のリグノセルロース性複合体。